

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		はにーばんkids	※100%に満たない =無回答・不明あり		公表日	2025年 1月 24日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	100%	0	・発達支援室が複数設備されていて、順番に児童が使用している。そのスペースは十分に確保されている。また、全員が自由あそびのコーナーに集まってもスペースは適切。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	100%	0	・児童が複数のエリアに分かれても、必ず全員の児童に目が届くように十分に配慮されています。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	100%	0	・場所ごとに名前があり、場所によって目的行動が違おうよう、環境設定している。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	100%	0	・発達段階に適した道具を用意している。もう少し量が多くても良いかと。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	90%	0	・リラックス等用途によって使い分けられている。 ・訓練室は用途に合わせて使用できる部屋となり、必要に応じて個別で使用することも多い。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	90%	0	・昼礼や研修棟を通して常に問題意識を持ち、振り返りを目標設定、実施を進めている。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0	・保護者向けアンケート結果についてみんなで確認したり話し合ったりしている点。 ・保護者さんと話をする中で、現在の課題や次にどうしていきたいか共通認識している。又、職員間で周知できるようミーティングしたり保護者記録を残したりしている。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0	・話し合いの場では、ほぼ全員の意思確認している。皆が納得のものを改善策として実施している。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	50%	40%		・外部の人が来て評価をすることはなかったと思います。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	90%	0	・定期的にも実施されている上に、問題点がある際は、その都度ミーティング・研修をしている。	
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	100%	0	・保護者にヒアリングしたり説明したりしている点。 ・意見交換したり、情報共有しながら作成している。 ・規定に沿った支援領域で、児童一人ひとりに適した療育内容を計画作成している。保護者さんや相談支援事業所、保育・教育現場へ見せる保護者さんもある。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画(放課後等デイサービス計画)を作成しているか。	100%	0	・アセスメントを実施し、保護者さんから具体的に5領域の関係やヒヤリングしてから児に適した内容で計画している。	
	13	児童発達支援計画(放課後等デイサービス計画)を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100%	0	・ケース会議を職員間で実施し、職員全員の意思や印象をヒヤリングしている。原案作成後に計画についての話し合いも行われている。共通理解の下で療育が実施されている。	

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
適切な支援の提供	14 児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%	0	・チューター制度によって各々の職員が療育内容をチューター相手と確認し合っている。 不明点は計画作成者・児童発達支援管理責任者より具体的に説明を受け、理解を共有している。	
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	90%	0	・行動診断スケールを用いて行動の原因を挙げ、問題解決につなげている。	
	16 児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）には、児童発達支援（放課後等デイサービス）ガイドラインの「児童発達支援（放課後等デイサービス）の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	90%	0	・本人の療育内容に加えて、保護者さんのニーズ対策とし、保育機会・教育機会との連携も必要に応じて実施する事により、適切な支援が行われていると考える。具体的に支援内容が設定されている。	
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	90%	0	・チューター制度によって相談できている。 ・児童発達支援管理責任者と共に職員がチームとなって立案している。	
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	80%	0	・プログラムは児童の発達段階によって適した内容のものになる為、個々によって内容の違う課題が常にアップロードされる。	
	19 こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）を作成し、支援が行われているか。	100%	0	・利用時は毎回個別支援による療育を実施している。又、集団活動に参加するためのスキルを促す課題を個々の支援計画に取り入れ、療育場面で集団活動を実施している。	
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	100%	0	・児童のスケジュールや個別支援を担当する職員の振り分けと、集団療育を担当する役を決めてから支援が始まっている。職員間で周知できるよう職員の役割ボードがある。	
	21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	50%	30%	・打ち合わせはないが、気になったことを報告できる環境になっている。 ・支援終了後の振り返り時間はないが、支援開始前に打ち合わせをしている。 ・特に問題点があったり、個別ケースでのPDCAサイクルで振り返りはあるが、全員のケースについての振り返りや毎回の振り返りはないです。	・毎回の振り返りはできないこともある。
	22 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100%	0	・個別支援計画書の課題内容、集団療育での活動内容に対する記録をとり、次回入取入れることについて検証している。	
	23 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%	0	・保護者さんへ日頃の様子や気になること等をモニタリングし、本人も好きなことや頑張りたいことをモニタリングしてから、6か月の評価とともに課題内容を見直している。	
24 <u>【放デイのみ】</u> 放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせる支援を行っているか。	70%	0	・本人、家族の支援と地域の学校との連携が取れるように作成している。		
25 <u>【放デイのみ】</u> こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	90%	0	・個別のプログラムの中で、自己選択や自己決定をする場面を作り、当日のスケジュールや課題の内容、課題に取り組む時間帯などを自ら決定し、実行している。		
26 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	60%	0	・児童発達支援管理責任者は児童の状況や特性を理解しており、児童に関わる会議に参画している。		
27 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	80%	0	・保護者さんや関係機関からニーズがある際は、必ず連携を取り、児童の情報を共有している。		
28 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	70%	10%	・他事業所との定期的な連携はない。頻度は少ないが、他の事業所へ見学に行くこともある。		
29 保育所や認定こども園、幼稚園等、または放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	10%	80%		・地域での交流があるかは不明。	

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
関係機関や保護者との連携	30	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	100%	0	・送迎時に保護者さんと直接話せる機会が多く、情報の交換をしている。支援計画の実施内容や児童の様子を伝え、現段階の発達状況を確認している。	
	31	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	100%	0	・保護者さん対象の研修は、注意機能の項目で実施されている。個別のペアレントトレーニングは希望のある保護者へ実施すると共に必要性を感じる保護者さんは職員から声掛け、実施につなげている。	
	32	【 <u>児童事業所・児童センターのみ</u> 】併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	60%	10%		
	33	【 <u>児童事業所・児童センターのみ</u> 】就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	50%	10%		
	34	【 <u>児童センターのみ</u> 】地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	35	【 <u>児童センターのみ</u> 】質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外泊研修に参加させているか。				
	36	【 <u>児童センターのみ</u> 】(自立支援)協議会・こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	37	【 <u>放デイのみ</u> 】学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか。	60%	10%	・保護者をとおしてききとりを行っている。 ・児童についての連絡窓口担当者の明記と、情報交換を行うことについて確認を取っている。	
	38	【 <u>放デイのみ</u> 】就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	50%	20%		
	39	【 <u>放デイのみ</u> 】学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	40%	30%		
40	【 <u>放デイのみ</u> 】(自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。	20%	30%			
保護者への説明等	41	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%	0	・契約時に内容説明のスライドを見てもらい、その後不明点や重要点を再度口頭でも説明している。	
	42	児童発達支援計画(放課後等デイサービス計画)を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100%	0	本人へ興味関心やチャレンジしたいことをヒヤリングし保護者さん視点のニーズやヒヤリングしてから、療育内容に取り入れ課題の設定をしている。	
	43	「児童発達支援計画(放課後等デイサービス計画)」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	100%	0	・必ず療育内容を確認してもらい、新しく取り組む療育内容の意図や目的を説明している。又、評価についても不明点がある保護者へは説明している。	
	44	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100%	0	・送迎時に日頃の家での様子をヒヤリングし、その場で対策を一緒に考えたり、相談内容の話し合いに時間を要する案件に関しては、相談の日程を決めて対応している。	
	45	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	90%	0	・きょうだい同士での関わりの機会は設けていない。親同士が交流する機会は年2回設けている。	・きょうだい同士での交流はないと思う。
	46	こどもや保護者からの相談や苦情、申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や苦情、申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	90%	10%	・相談、苦情、申し入れに対しての対応は適切に行っているが、職員間以外で周知することはない。	
	47	定期的に通信等を発行することや、HPやSNSを活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	80%	10%	・療育内容や訓練実施、保護者の会等のお知らせをHPやSNS等で発信している。	

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
	48 個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%	0	・外部の人が出入する際は個人名が記載されているものすべてを裏に向けて見えないようにしている。個人が特定できるものの処分についてはシュレッダーもしくは印刷部分を同じ素材のもので塗りつぶして隠滅している。又、個人情報が記載しているものは一切外部に出さない。	
	49 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%	0	・お互いに医師や情報が伝わるように、四角聴覚等の優位なものをとり入れてコミュニケーションをはかる配慮をしている。	
	50 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に関わった事業運営を図っているか。	10%	80%		
	51 <u>【放デイのみ】</u> 家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100%	0	個人のニーズに応じて、ご意向のある保護者さんへは必ず対応している。30分以上児童発達管理責任者が根拠に基づく理論で対応している。	
非常時等の対応	52 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	90%	10%	・マニュアルを策定し、保護者さんが参照できるように玄関口に設置している。定期的に訓練を実施している（嘔吐処理等）。	
	53 業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100%	0	・災害訓練を定期的に実施し、避難経路等を写真に写し、掲示している。	
	54 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	70%	20%	・送迎時や予めの連絡にて予防接種を受けた際の確認や服用中の薬の種類を確認している。	
	55 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	40%	30%	・食物の提供なし。 ・事業所内での食事はしないので対応していない。アレルギーがあるかどうかは利用当初に記載するフェイスシートにかかっている。	
	56 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%	0	・委員会を設置し、各々の訓練・研修を実施している。	
	57 こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	70%	20%	・運営規程に記載されており、保護者さんがいつでも確認できるよう玄関口にある。	
	58 ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100%	0	・毎日ヒヤリハットの確認をしている。定期的にヒヤリハットの内容について話し合い、対策を立てている。	
	59 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%	0	・虐待の定義を知り、虐待が起こりうる可能性について考え、虐待につながらない為の知識を学機会がある。	
60 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	90%	10%	現在は児童発達支援計画に記載していない。研修では身体拘束をやむを得ず行う場合についての審議をしている。		